

令和2年国勢調査 人口等基本集計

(さいたま市の概要)

この資料は、「令和2年国勢調査 人口等基本集計※（令和3年11月30日総務省統計局公表）」から、さいたま市に関する主要な部分についてまとめた概要版の資料です。
詳細な結果については、総務省統計局のホームページをご覧ください。

※ 人口等基本集計とは、人口・世帯数の確定結果並びに人口の男女・年齢・配偶関係別構成、世帯、住居に関する基本的な事項及び外国人、高齢者世帯等に関する事項を全国、都道府県及び市区町村別に集計したもの。



令和2年国勢調査

検索



1 さいたま市の人口

- ◆ さいたま市の人口は 132 万 4,025 人（令和 2 年 10 月 1 日現在）
- ◆ 前回調査（平成 27 年）より 6 万 46 人（4.8%）の増加

令和 2 年国勢調査による 10 月 1 日現在のさいたま市の人口は 132 万 4,025 人で、前回の平成 27 年国勢調査と比べ 6 万 46 人増加しました。平成 27 年～令和 2 年の人口増減率は 4.8%となり、平成 22 年～27 年の 3.4%より増加しました。

図 1 さいたま市の人口及び人口増減率の推移

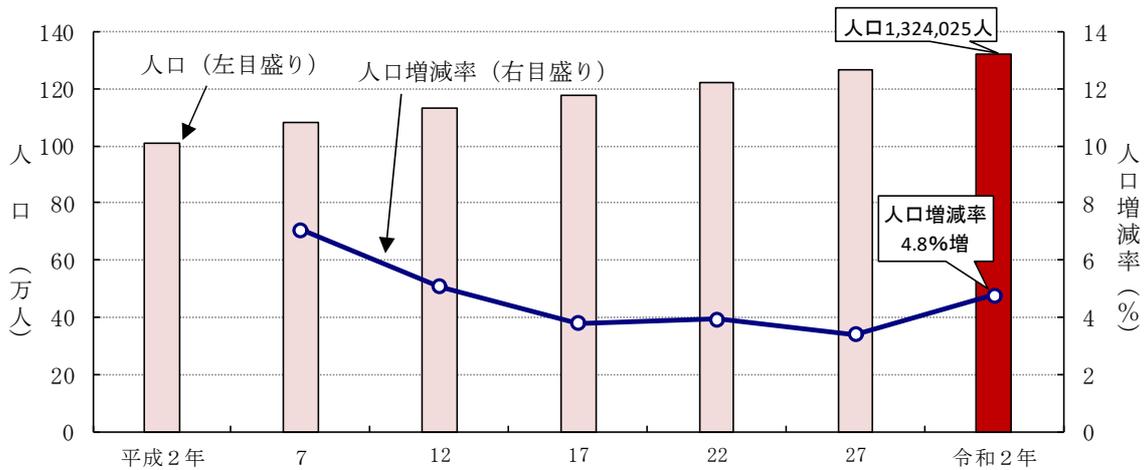


表 1 さいたま市の人口及び人口増減率の推移

年	人 口 (人)			人口増減数 (人)	人口増減率 (%)	指 数 (平成 2 年 = 100)	人口性比 (女性 100 に対する男性)
	総数	男性	女性				
平成 2 年	1,007,569	510,134	497,435	—	—	100.0	102.6
7	1,078,545	545,915	532,630	70,976	7.0	107.0	102.5
12	1,133,300	571,800	561,500	54,755	5.1	112.5	101.8
17	1,176,314	590,972	585,342	43,014	3.8	116.7	101.0
22	1,222,434	611,236	611,198	46,120	3.9	121.3	100.0
27	1,263,979	627,238	636,741	41,545	3.4	125.4	98.5
令和 2 年	1,324,025	652,920	671,105	60,046	4.8	131.4	97.3

さいたま市の年齢別人口は 2 ページ
 指定都市との人口比較は 3～4 ページ
 さいたま市の世帯数は 5 ページ
 行政区別の人口・世帯数は 6～8 ページをご覧ください。



さいたま市PRキャラクター
 “つなが竜ヌウ”

◆ 総人口に占める 65 歳以上人口の割合は 23.6% に上昇

総人口に占める年齢別の人口をみると、15 歳未満人口は 16 万 8,805 人（総人口の 13.0%）、15～64 歳人口は 82 万 1,211 人（同 63.4%）、65 歳以上人口は 30 万 4,992 人（同 23.6%）となりました。15 歳未満人口の割合は調査開始以来最低、65 歳以上人口の割合は調査開始以来最高の数値となりました。

図 2 さいたま市の年齢別人口（3 区分）及び割合の推移

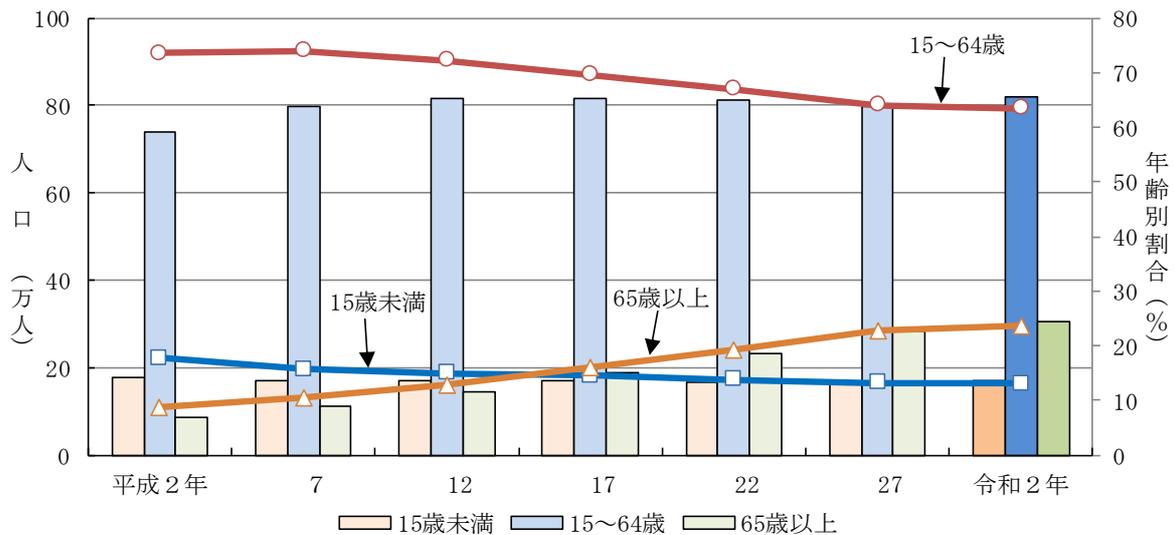


表 2 さいたま市の年齢別人口（3 区分）及び割合の推移

年	人 口 (人)	割合 (%)					
		15歳未満	15～64歳	65歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上
平成 2 年	1,007,569	178,609	739,803	87,237	17.8	73.6	8.7
7	1,078,545	168,798	796,449	112,170	15.7	73.9	10.4
12	1,133,300	169,929	816,522	145,087	15.0	72.2	12.8
17	1,176,314	170,239	815,659	186,779	14.5	69.6	15.9
22	1,222,434	166,926	813,060	233,564	13.8	67.0	19.2
27	1,263,979	164,722	799,279	284,138	13.2	64.0	22.8
令和 2 年	1,324,025	168,805	821,211	304,992	13.0	63.4	23.6

注 1：総人口は、年齢「不詳」を含む。

注 2：割合は、分母から不詳を除いて算出している。

- ◆ **さいたま市の人口は指定都市の中で9番目に多い**
- ◆ **前回調査（平成27年）からの人口増減数は指定都市の中で4番目に多い**
- ◆ **平均年齢は指定都市の中で3番目に低い**

指定都市別の人口が最も多いのは横浜市（377万7,491人）、次いで大阪市（275万2,412人）、名古屋市（233万2,176人）となり、さいたま市（132万4,025人）は9番目に多い結果となりました。

前回の平成27年国勢調査と比較した人口増減数をみると、最も多いのは福岡市（7万3,711人）、次いで川崎市（6万3,049人）、大阪市（6万1,227人）となり、さいたま市（6万46人）は4番目に多い結果となりました。人口増減率をみると、福岡市に次いでさいたま市が2番目に高い結果となりました。

また、平均年齢をみると、最も年齢が低いのは川崎市（43.7歳）、次いで福岡市（43.9歳）、さいたま市（45.1歳）となり、さいたま市は3番目に低い結果となりました。

図3 指定都市の人口

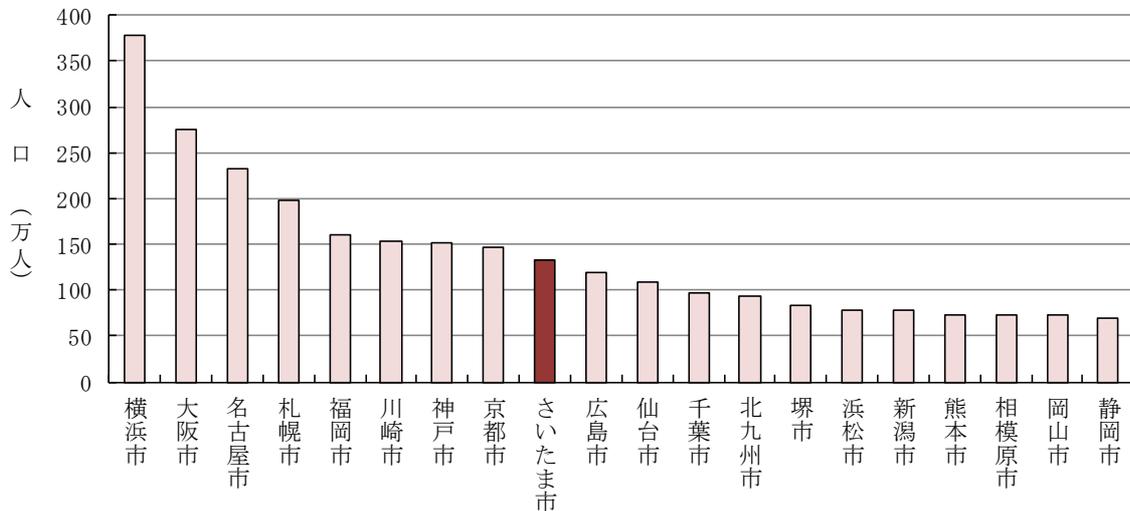


図4 指定都市の人口増減数及び人口増減率

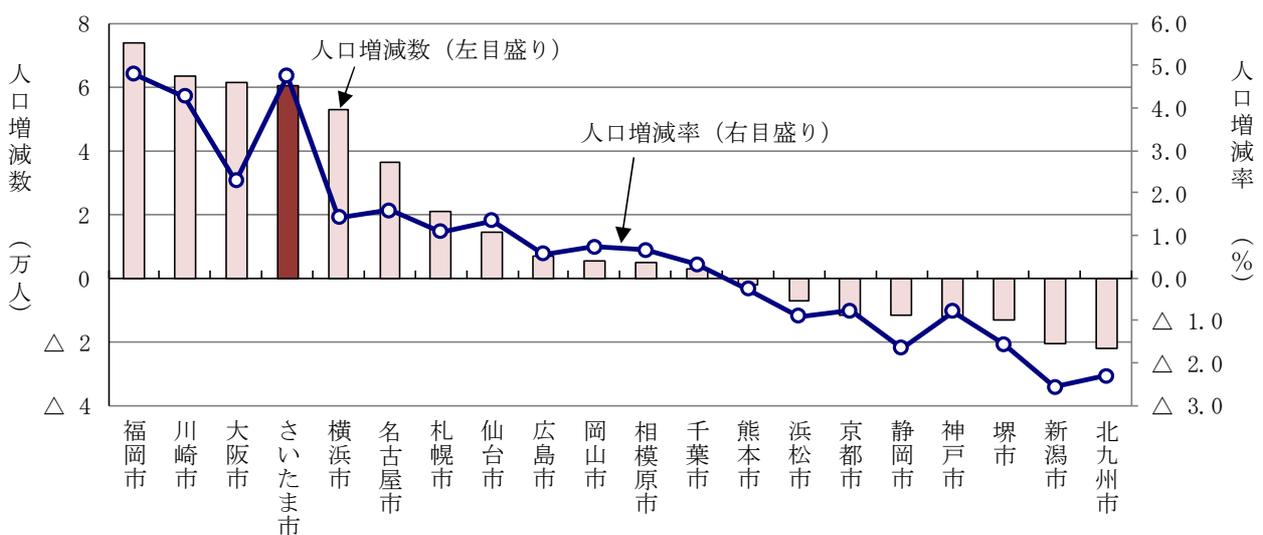


表3 指定都市との人口比較

指定都市	人口（人）		人口増減数 （人）	人口増減率 （%）	人口密度 （1km ² 当たり）
	令和2年	平成27年			
札幌市	1,973,395	1,952,356	21,039	1.1	1,760.0
仙台市	1,096,704	1,082,159	14,545	1.3	1,394.7
さいたま市	1,324,025	1,263,979	60,046	4.8	6,089.4
千葉市	974,951	971,882	3,069	0.3	3,587.3
横浜市	3,777,491	3,724,844	52,647	1.4	8,630.1
川崎市	1,538,262	1,475,213	63,049	4.3	10,756.3
相模原市	725,493	720,779	4,714	0.7	2,205.7
新潟市	789,275	810,157	△ 20,882	△ 2.6	1,086.8
静岡市	693,389	704,989	△ 11,600	△ 1.6	491.1
浜松市	790,718	797,980	△ 7,262	△ 0.9	507.5
名古屋	2,332,176	2,295,638	36,538	1.6	7,143.0
京都市	1,463,723	1,475,183	△ 11,460	△ 0.8	1,768.1
大阪市	2,752,412	2,691,185	61,227	2.3	12,215.6
堺市	826,161	839,310	△ 13,149	△ 1.6	5,514.0
神戸市	1,525,152	1,537,272	△ 12,120	△ 0.8	2,738.1
岡山市	724,691	719,474	5,217	0.7	917.4
広島市	1,200,754	1,194,034	6,720	0.6	1,324.3
北九州市	939,029	961,286	△ 22,257	△ 2.3	1,909.8
福岡市	1,612,392	1,538,681	73,711	4.8	4,694.6
熊本市	738,865	740,822	△ 1,957	△ 0.3	1,893.0
(参考)全国	126,146,099	127,094,745	△ 948,646	△ 0.7	338.2

注1：人口密度の算出に用いた面積は、国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」による。

2：平成27年の人口は、令和2年10月1日現在の市区町村の境域に基づいて組み替えた人口を示す。

表4 指定都市との年齢別人口比較

指定都市	人口 （人）	人口			平均年齢 （歳）	割合（%）		
		15歳未満	15～64歳	65歳以上		15歳未満	15～64歳	65歳以上
札幌市	1,973,395	215,366	1,185,724	541,242	47.7	11.1	61.0	27.9
仙台市	1,096,704	128,665	673,081	257,223	45.4	12.2	63.6	24.3
さいたま市	1,324,025	168,805	821,211	304,992	45.1	13.0	63.4	23.6
千葉市	974,951	110,929	569,887	249,963	46.9	11.9	61.2	26.9
横浜市	3,777,491	441,810	2,316,309	920,583	46.4	12.0	63.0	25.0
川崎市	1,538,262	189,490	1,001,271	301,151	43.7	12.7	67.1	20.2
相模原市	725,493	82,532	435,860	185,236	46.7	11.7	61.9	26.3
新潟市	789,275	91,023	450,987	230,990	48.3	11.8	58.3	29.9
静岡市	693,389	78,274	395,897	209,628	48.8	11.4	57.9	30.7
浜松市	790,718	101,461	457,684	220,925	47.4	13.0	58.7	28.3
名古屋	2,332,176	275,484	1,388,348	566,154	46.1	12.4	62.3	25.4
京都市	1,463,723	153,005	847,046	394,406	47.4	11.0	60.7	28.3
大阪市	2,752,412	290,649	1,686,757	676,821	46.4	11.0	63.5	25.5
堺市	826,161	102,091	471,667	233,131	47.4	12.7	58.5	28.9
神戸市	1,525,152	171,315	843,645	419,161	48.0	11.9	58.8	29.2
岡山市	724,691	92,756	424,785	185,732	46.0	13.2	60.4	26.4
広島市	1,200,754	158,290	706,497	300,882	45.9	13.6	60.6	25.8
北九州市	939,029	109,590	503,800	286,177	48.9	12.2	56.0	31.8
福岡市	1,612,392	204,973	990,298	338,930	43.9	13.4	64.5	22.1
熊本市	738,865	99,199	429,187	191,066	46.1	13.8	59.7	26.6
(参考)全国	126,146,099	14,955,692	72,922,764	35,335,805	47.7	12.1	59.2	28.7

注1：総人口は、年齢「不詳」を含む。

2：割合は、分母から不詳を除いて算出している。

2 さいたま市の世帯数

- ◆ さいたま市の世帯数は58万2,475世帯（令和2年10月1日現在）
- ◆ 前回調査（平成27年）より4万9,266世帯（9.2%）の増加

令和2年国勢調査による10月1日現在のさいたま市の世帯数は、58万2,475世帯で、前回の平成27年国勢調査と比べて4万9,266世帯増加し、増減率は9.2%となりました。

一方で、世帯規模を示す1世帯当たり人員は2.27人で、前回の平成27年国勢調査の2.37人から減少しました。

図5 さいたま市の世帯数及び1世帯当たり人員の推移

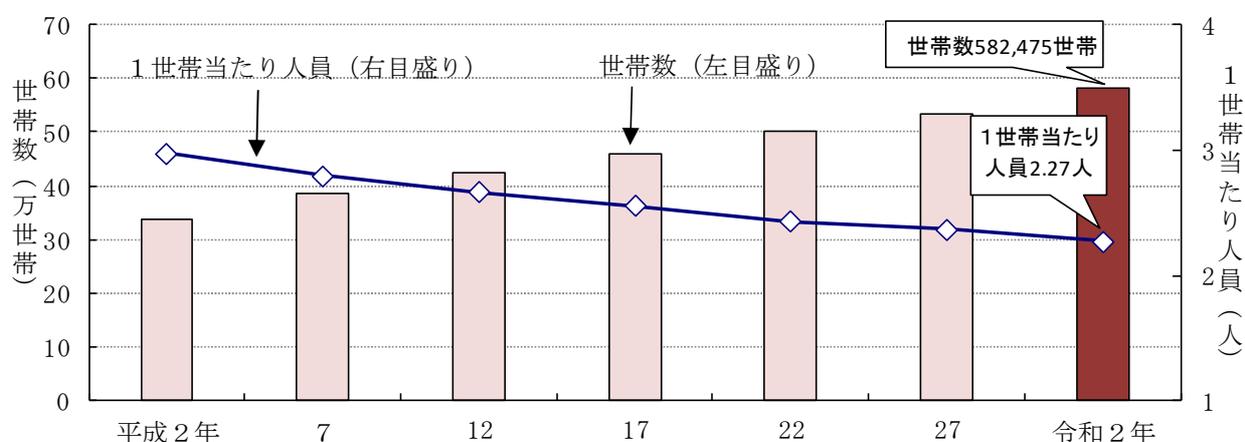


表5 さいたま市の世帯数、世帯増減及び1世帯当たり人員の推移

年	世帯数 (世帯)	世帯増減数 (世帯)	世帯増減率 (%)	人口 (人)	1世帯当たり 人員(人)
平成2年	338,754	—	—	1,007,569	2.97
7	385,852	47,098	13.9	1,078,545	2.80
12	425,037	39,185	10.2	1,133,300	2.67
17	460,457	35,420	8.3	1,176,314	2.55
22	503,126	42,669	9.3	1,222,434	2.43
27	533,209	30,083	6.0	1,263,979	2.37
令和2年	582,475	49,266	9.2	1,324,025	2.27

3 行政区別の人口及び世帯数

(1) 人口

すべての行政区で前回調査と比べて人口が増加しました。

市全体に占める人口は、南区が19万1,563人（構成比14.5%）で最も多く、次いで見沼区、浦和区の順となりました。人口増減数は、緑区が1万1,799人で最も多く、次いで南区、浦和区の順となりました。人口増減率は、緑区が10.1%で最も高く、次いで西区、浦和区の順となりました。人口密度は、浦和区が1km²当たり1万4,319.9人で最も高くなりました。

(2) 世帯数

すべての行政区で前回調査と比べて世帯数が増加しました。

世帯増減数は南区が8,186世帯で最も多く、増減率は緑区が14.3%で最も高くなりました。

図6 さいたま市人口に占める行政区別人口の割合

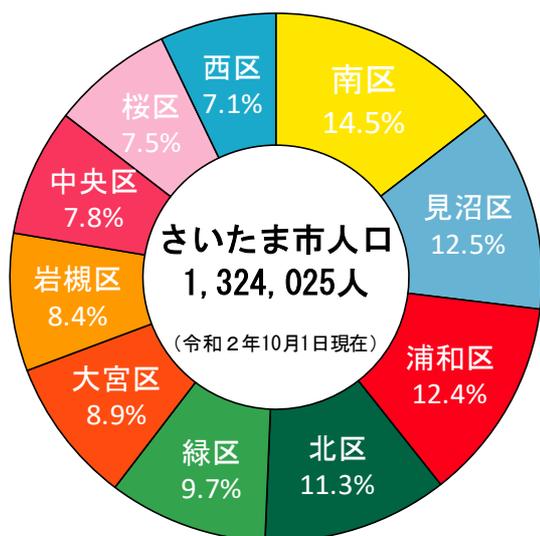


図7 行政区別人口増減数

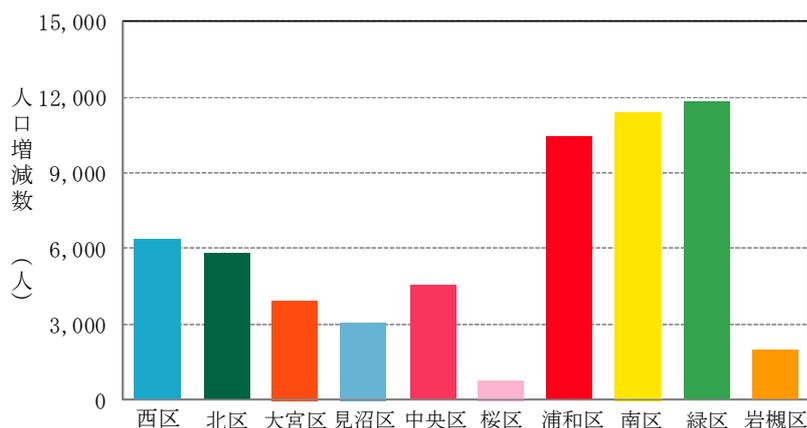


図8 行政区別人口増減率

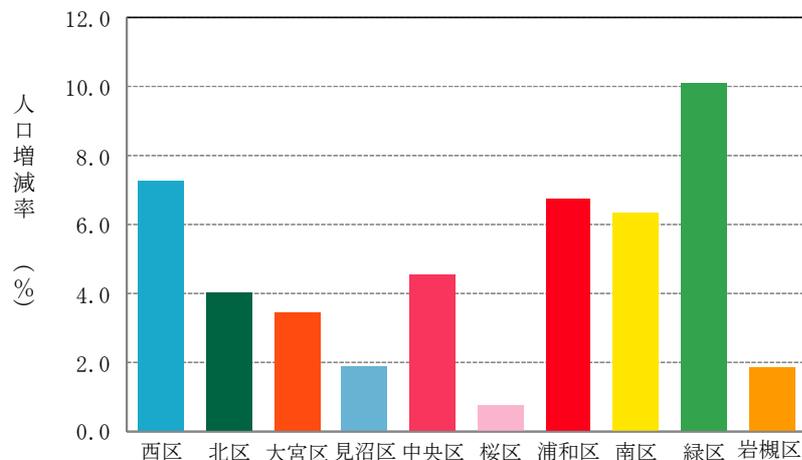


表6 行政区別人口、人口増減及び人口密度

市 区	人 口 (人)						人口増減数 (人)	人口増減率 (%)	人口密度 (人/km ²)
	令和2年			平成27年					
	総 数	男 性	女 性	総 数	男 性	女 性			
さいたま市	1,324,025	652,920	671,105	1,263,979	627,238	636,741	60,046	4.8	6,089.4
西 区	93,499	45,843	47,656	87,146	42,913	44,233	6,353	7.3	3,210.8
北 区	149,242	73,370	75,872	143,446	71,102	72,344	5,796	4.0	8,851.8
大 宮 区	117,784	58,338	59,446	113,864	56,457	57,407	3,920	3.4	9,201.9
見 沼 区	165,049	80,749	84,300	161,960	79,696	82,264	3,089	1.9	5,377.9
中 央 区	103,269	51,016	52,253	98,762	49,204	49,558	4,507	4.6	12,308.6
桜 区	98,661	49,764	48,897	97,910	49,891	48,019	751	0.8	5,293.0
浦 和 区	164,822	79,554	85,268	154,416	74,970	79,446	10,406	6.7	14,319.9
南 区	191,563	95,491	96,072	180,152	90,744	89,408	11,411	6.3	13,861.3
緑 区	128,321	63,216	65,105	116,522	57,354	59,168	11,799	10.1	4,853.3
岩 槻 区	111,815	55,579	56,236	109,801	54,907	54,894	2,014	1.8	2,274.0

注：人口密度の算出に用いた面積は、国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」による。

表7 行政区別世帯数、世帯増減及び1世帯当たり人員

市 区	世帯数 (世帯)		世帯増減数 (世帯)	世帯増減率 (%)	令和2年人口 (人)	1世帯当たり 人員 (人)
	令和2年	平成27年				
さいたま市	582,475	533,209	49,266	9.2	1,324,025	2.27
西 区	38,197	33,871	4,326	12.8	93,499	2.45
北 区	66,563	61,756	4,807	7.8	149,242	2.24
大 宮 区	55,188	53,265	1,923	3.6	117,784	2.13
見 沼 区	70,603	65,666	4,937	7.5	165,049	2.34
中 央 区	47,770	42,872	4,898	11.4	103,269	2.16
桜 区	46,374	43,331	3,043	7.0	98,661	2.13
浦 和 区	74,499	67,136	7,363	11.0	164,822	2.21
南 区	86,081	77,895	8,186	10.5	191,563	2.23
緑 区	50,836	44,475	6,361	14.3	128,321	2.52
岩 槻 区	46,364	42,942	3,422	8.0	111,815	2.41

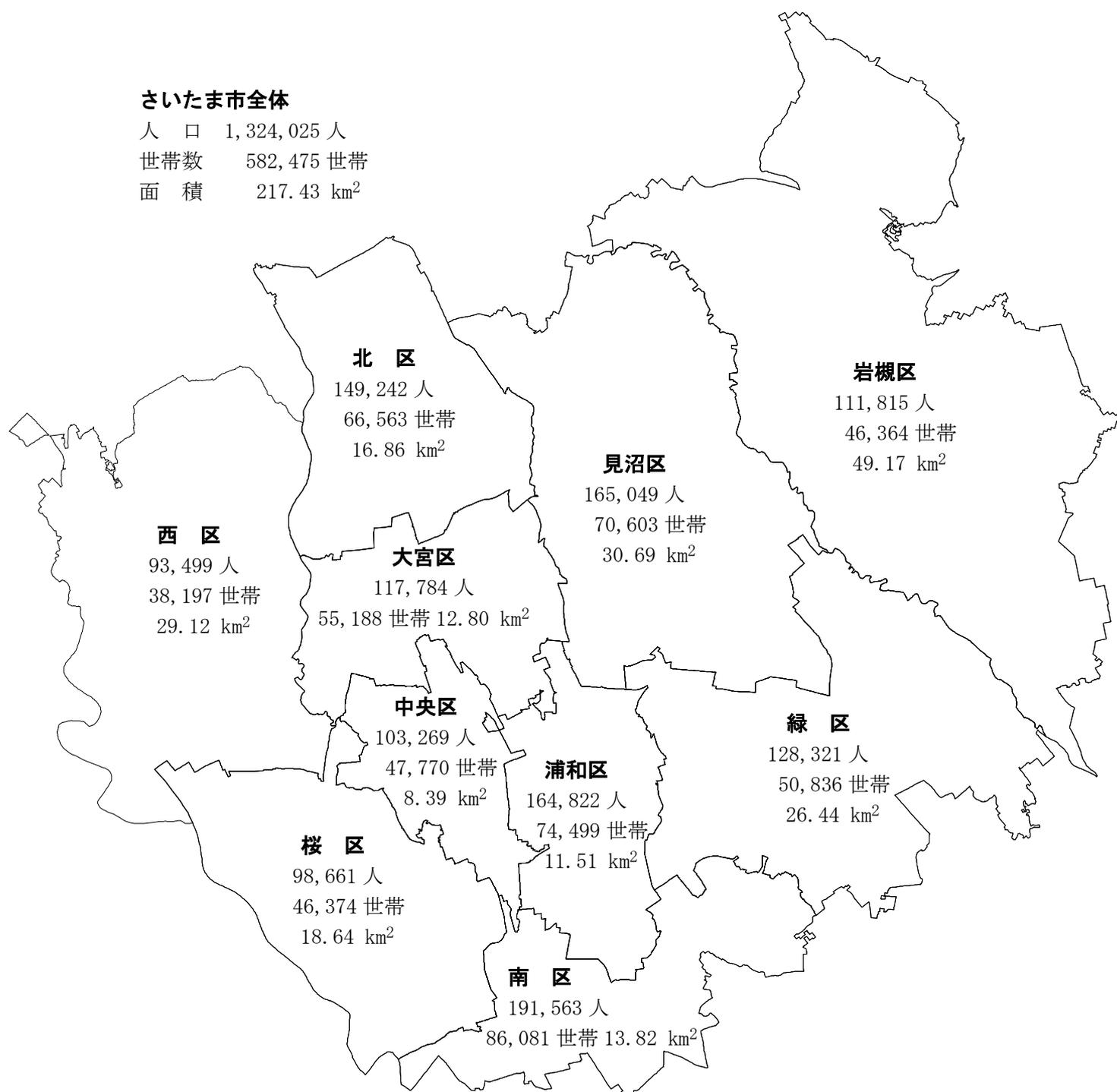
表8 行政区別年齢別人口 (3区分) 及び割合

市 区	人 口 (人)	人 口			平均年齢 (歳)	割 合 (%)		
		15歳未満	15~64歳	65歳以上		15歳未満	15~64歳	65歳以上
さいたま市	1,324,025	168,805	821,211	304,992	45.1	13.0	63.4	23.6
西 区	93,499	12,023	54,499	25,567	46.5	13.1	59.2	27.8
北 区	149,242	18,747	94,208	31,773	44.7	13.0	65.1	22.0
大 宮 区	117,784	14,268	76,221	26,309	45.0	12.2	65.3	22.5
見 沼 区	165,049	19,820	97,222	44,281	47.0	12.3	60.3	27.4
中 央 区	103,269	12,679	66,441	21,602	44.4	12.6	66.0	21.4
桜 区	98,661	11,003	61,240	22,997	45.4	11.6	64.3	24.1
浦 和 区	164,822	22,560	104,392	32,908	43.9	14.1	65.3	20.6
南 区	191,563	25,696	125,479	36,829	43.4	13.7	66.7	19.6
緑 区	128,321	19,366	78,427	28,460	43.9	15.3	62.1	22.5
岩 槻 区	111,815	12,643	63,082	34,266	48.7	11.5	57.4	31.2

注1：総人口は、年齢「不詳」を含む。

注2：割合は、分母から不詳を除いて算出している。

図9 行政区別人口、世帯数及び面積



【利用上の注意】

・平成12年以前の数値については、現在の市域に組み替えて算出したものです。